

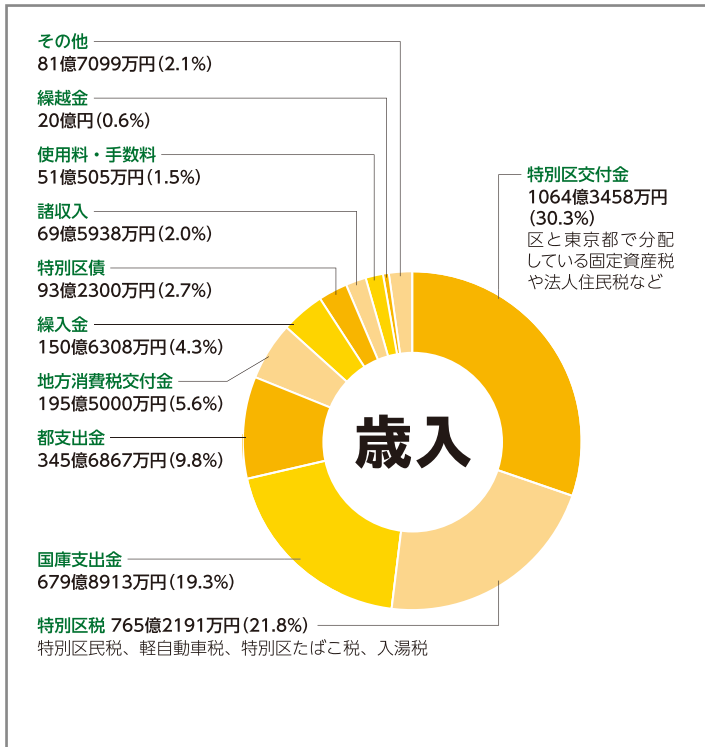
# 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

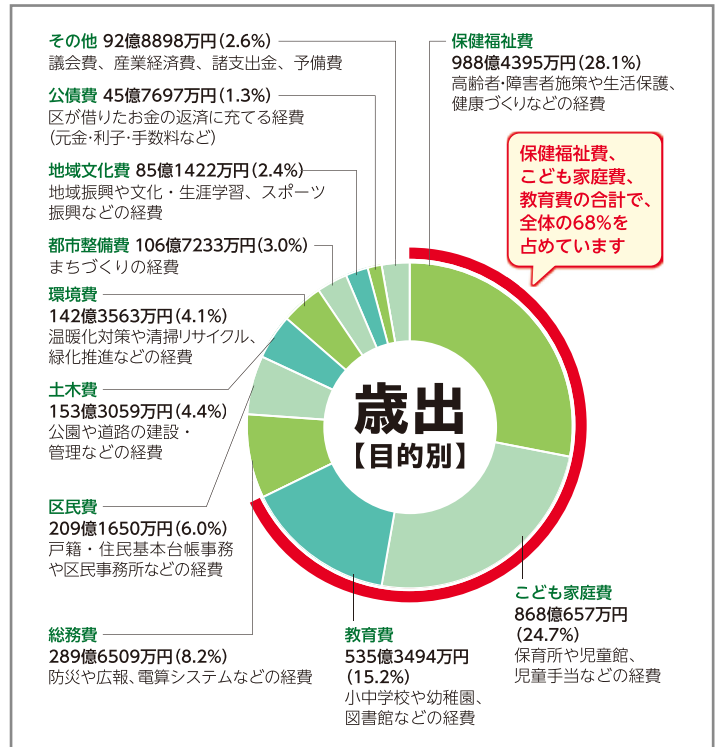
## 区政レポート

発行者  
練馬区豊玉北6-12-1  
練馬区役所西庁舎6階  
会派名  
練馬区議会立憲民主党  
03-3999-3111  
内線7681~7683

国際社会や経済情勢の不安定さを誰でもが感じている日本の現状の中、練馬区の財政は、特別区民税や法人住民税収の伸びから、令和7年度予算は前年比8.9%増(約286億円)が見込まれ、過去最大額の3516億8千万円余の予算が示された(グラフ参照)。今回、予算特別委員会の副委員長を務めたが、正直、楽観できない案件も多くあり、今回はそれらを中心に検証する！



令和7年度歳入予算額の内訳



令和7年度各事業予算配分の内訳

**区**の貯金が総額110億超えだが、底をつく?!

【問】令和6年の各事業費



【答】基金の取崩しと積極的な起償を行うことで、何とか工事請負契約の成約を図りたい。」

**工事請負契約の先取り?**  
**(債務負担行為)が続く!**

の執行見込み差と区民税や法人税等が、当初試算より増収となったことから、最終補正予算額は64億6百万円となった。今回の補正額から施設整備基金に56億円の積み増しをしたが、今後の施設整備の試算と基金との関係は?

【答】今後、多くの公共施設整備を進めなくてはならないため、基金の積み増しをしても、起債と基金取り崩しが続けば、基金は10年で底をつく試算された。

**災害時には、財政調整基金の活用?!**

【問】南海トラフや首都直下地震の発生確率が高まってきている。災害時、日本の広範囲で甚大な被害となれば、国からの支援は難しく、練馬区独自の対応が求められる。如何にして、区民の生活再建の支援体制の取り組みを行っていくのか?

【答】災害時は、区長の判断により、貯金の財政調整基金(現在高、404億円)を取崩すようになる。そのため、一層の基金の積み増しをしていきたい。また、基金の取崩しには、やはり、議会の議決が必要になる。

# 白石けい子 活動レポート



練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生れ。  
練馬区立練馬第二小学校・貫井中学校・都立第四商業高等学校・東京都練馬高等保育学院卒業。保育士・社会福祉主事・ホームヘルパー2級。  
1994年10月 保育サービス事業 現「保育ルームぽかぽか」の事業開始。  
2000年12月 NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立 現理事長  
2002年 1月 「ぽかぽかデイサービス高松センター」を開設し、保育との融合施設。  
2007年 4月 初当選。現在、5期目。家族 夫・子ども6人(義理含)孫 6人 猫1匹  
連絡先：練馬区高松3-24-19 TEL 03-3990-3107 E-mail info@shiraishi-keiko.net

## 令和6年度活動ア・ラ・カルト



貫井にある練馬区立図書館と美術館が築40年となる。新美術館は、平田晃久建築士のデザインで、令和7年度予算に「美術館再整備事業経費」が示されたが……。

私は、①建設費が、当初の76億円の説明から、再試算で109億円となった事態への危機感。②最終建設費も、109億円では留まらず、青天井の経費となる可能性が高い。③工期の遅れが生じれば、区民にも大きな影響と損失となる等、多くの懸念がある。今予算には施設の解体経費が計上されている。

区は「決して立ち止まることなく、建設を進めたい。金額の上限は示せないが、青天井のつもりはない。そのために、コンストラクション・マネジメント(3500万円)を入れ、資材費の適正や工期等について、確実に進められるよう図る。」と、終始、実行ありきの答弁。

私は、決して、図書館・美術館の建て替えを否定するものではない。だが、他の自治体も公共工事を断念せざる負ないと判断をしている。主観としても、この事業は、今一度、立ち止まるべきではないか。

図書館・美術館の再整備が、76億円から1.5倍の109億円に?!

## ペット防災シンポジウムのご案内

練馬区は「災害時でのペット同行避難は可能」としているが……。今回は、被災地報告「能登半島地震のペットたちの被災状況」基調講演「東京都のペット防災の取組み」パネルディスカッション「私たちができるペット防災」の3部構成で行います。多くの方々のご参加をお待ちしています。

日時：令和7年5月17日(土) 12:45～15:30 ※会場 12:30～  
場所：練馬区立生涯学習センター ホール 定員200名  
協力：東京都獣医師会・練馬区防災課・生活衛生課・動物ボランティア団体 他

申込み：QRコードからお申込みください。

※当日の参加も可能

メール・FAXのお申し込みは、5月17日のシンポジウム申込みと書き、参加者氏名・住所・ペットの有・無・質問等を記入し、  
info@shiraishi-keiko.net FAX 5241-9735 まで



## ▼白石けい子の考察▲

第一回定例会が終了。年々、税収の伸びもあり、今年も過去最大額となりました。だが、最高額だからと楽観はできません。「税の活かし方は？」と、日々、自問自答を繰り返しています。

近年、南海トラフ・首都直下地震の発生確率も高まり、災害の心構え、備えを、自助、共助だけに頼るのではなく、行政の役割である公助の姿勢も、しっかりと示していくべき時と考えます。

今年、6月東京都議会議員選挙。7月参議院議員選挙。令和8年4月には練馬区長選挙。と、私たちの生活に直結していく選挙が続きます。政治も変革の時、ぜひ、有権者の権利を活かし参加してほしいと思います。